

シーク & セーブルシーク う蝕検知液

取扱説明書

概要：

シークは、合成染料を含むグリコールベースのう蝕検知液で、う蝕象牙質を赤く着色します。また、セーブルシークは合成染料を含む水性グリコールベースのう蝕検知液で、う蝕象牙質を暗緑色に着色します。

用途：

シーク及びセーブルシークは、エナメル質に覆われた1級、2級、3級窩洞の形成や、エナメル象牙境の形成時の見えにくい部位にあるう蝕を識別し、う蝕象牙質の削り過ぎを防ぎます(図1参照)。う蝕象牙質の深い部分は再石灰化するため、露髄の予防も可能です。また、シークは容易に根管口を特定する方法としてもご使用できます。

使用方法:

1. ルアーロックキャップを取り外し、ブラックミニブラシチップを回しながらシリンジにしっかり取付けます。本品は材料の塗布や注出量を容易にコントロールするため、従来通り親指でプランジャーを押し出すのではなく、手の腹でプランジャーを押すように操作します。
2. シークまたはセーブルシークをう蝕部に塗布し、10秒後に水洗、吸引します。(図2参照)
3. 歯内療法の初期で、根管を識別するのにシークを使用する際は、根管口に小さな赤い点が残ります。
4. う蝕部を除去する際は、低速のラウンドバー、又はエキスカベーターを使用します。(図3参照) う蝕が完全になくなるまで、必要に応じて繰り返し行います。(図4参照)
5. 適宜使用する修復材料を使って修復を行います。

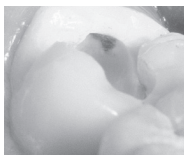


図1
見えにくい部位のう蝕を識別

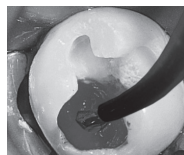


図2
ブラックミニブラシチップを使ってシークをう蝕象牙質に塗布。吸引しながらエア・ウォータースプレーで水洗します。



図3
低速のラウンドバー、又はエキスカベーターを使用してう蝕部を除去します。



図4
検知液を再塗布・水洗して、う蝕が完全に除去されたことを確認してください。なお、う蝕象牙質深部には、ウルトラブレンドプラスをごく少量塗布し、光重合させた後に修復材を使用します。

使用上の注意：

1. チップは再使用禁止。
 2. 塗布する際は、本品が飛散しないように出し過ぎに注意してください。う蝕部での着色は感染象牙質をインスツルメント等で除去することで取り除けますが、う蝕部以外の口腔内で色が落ちにくい場合は、クロルシッド等の次亜塩素酸ナトリウム溶液や、過酸化水素等を使用してください。
 3. シークは衣服に付着するとシミが落ちにくいいため、取り扱いの際はご注意ください。また、シークが衣類に付着した場合は、中性洗剤とぬるま湯で洗浄するか、食酢で洗い流してください*。
- ※食酢は色を問わず、衣類やキャビネット、カバー類、カーペット等に付いたシミを取り除くのに効果的であると証明されています。
4. 患者間で使用する際はシリンジを消毒してください。また、交差汚染を防ぐために、ウルトラデントシリンジカバーとの併用を強く推奨します。

貯蔵・保管方法：

常温保存

製造販売業者

ULTRADENT JAPAN 株式会社

電話番号：0120-060-751

製造業者

ULTRADENT PRODUCTS, INC. (米国)